

成年後見制度は、認知症・知的障害・精神障害等により判断能力が十分でない方々が、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護等のサービス契約を結んだりする為の支援をする制度です。

例えば、どのような人が利用する制度で、どのようなことを支援してくれるのでしょうか？



【花子さんの場合】

- ・夫が亡くなって、子供もいないので、自宅で一人暮らしをしています。
- ・病院で認知症の診断を受けていて、最近は会話が成り立たないことも増えています。
- ・転倒することも度々で、一人暮らしに限界を感じている様子ですが・・・

施設に入所したくても、花子さんは、認知症の影響で契約の内容を理解できません・・・。

こんな時、誰が契約するの？ 誰が施設の利用料を払うの？

➤ 成年後見人が花子さんに代わって、施設との契約や必要な支払いを行います。

【太郎さんの場合】

- ・自宅で一人暮らしをしていて、県外在住の一人息子が帰ってくるのは年に一回ほど。
- ・一日に何度も買い物に行くし、高価な健康器具をいくつも買っているようです。
- ・自宅にたくさんの請求書が届いているのに本人は気にしていません。



もし何百万円も請求されても太郎さんには支払えませんし、また買ってしまう可能性もあります・・・。

➤ 成年後見人が高額な売買契約を取り消すことができます。

➤ もしも債務の整理が必要になったら、成年後見人が債務の状況を調査し、必要があれば、破産の手続きをします。

後見人にできること

- 財産管理・・・本人の財産の管理を目的とする行為
預貯金の出し入れ・給付金の請求や受け取り・保険料や公共料金の支払い・契約の取消しなど
- 身上監護・・・本人の生活に必要なサービス利用の契約等

後見人にできないこと

- 婚姻・離婚・養子縁組・認知などの身分行為
- 手術の同意

※成年後見制度は、家庭裁判所が申請を受付けて、ご本人の状況に応じて利用の判断をします。上記はあくまで対象者の例であり、制度利用を保証するものではありません。

●制度概要や利用手続き等に関するお問い合わせは中土佐町社会福祉協議会までどうぞ。